

## 平成 22 年度進路指導関係日程

月 日		
12 月	18 日	第 1 回進路指導説明会
3 月	4 日	第 2 回進路指導説明会（進路希望調査方法の説明）
3 月	4 日から 19 日まで	進路希望調査
3 月	22 日から 31 日まで	学校推薦の調整（競合なし：推薦決定。競合あり：調整し推薦決定。推薦を受けていない学生の希望を再調査）を繰り返す。
4 月	1 日 その後	会社への推薦状の交付開始（選考。合格：推薦枠確定。不合格：推薦枠を解放。推薦を受けていない学生に随時推薦状を出す。）を繰り返す。

## 学校推薦と自由応募

学校推薦	「会社」が「大学（学科）」に入社希望者の推薦を依頼し、学校側がそれに応じて推薦を行う。被推薦者が入社試験に合格した場合には必ず入社することを保証する（大学側が）ことを前提としたシステムである。 <u>ただし残念ながら被推薦者が入社試験に合格する保証は全くない。</u>
自由応募	学生が個人として入社を交渉する。入社試験に合格（内定）しても学生は自由に拒否することができる。複数の会社に応募可能。就職担当は関与しない。

- 当初は自由応募で選抜を進め、最終段階で推薦書を要求するケースが見られる。この場合も、「推薦書を提出する＝入社を確約する」ことを意味することに留意すること。また、そのような場合の推薦は原則として指導教員の推薦状とする。
- 近年、学校推薦と自由応募を併用する会社が増えてきているが、自由応募で応募すると学校推薦で応募できない会社もある。

## ★2009 年度就職状況

求人会社数＝454 社（多くが学校推薦）

訪問会社数＝70 社（多くが学校推薦）

## ★2010 年度求人状況（2010 年 2 月 26 日 現在）

求人会社数＝298 社（学校推薦+自由応募）

訪問会社数＝42 社（多くが学校推薦）

## 進路指導について

### 1. 就職関係資料について

求人票を送ってきた会社のリストを掲示するとともに、各研究室に配布する(担当教員が面会した企業に印)。また、各社の就職関係資料は4F409コピー室の奥の戸棚に番号順に並べてある。番号は会社リストに対応しているので順番を崩さないこと。資料はコピー室外への持ち出しは厳禁。就職担当が許可した場合のみ可能。無断で持ち出した者には推薦業務を行わない。

### 2. 就職活動について

ホームページなどで十分な企業研究を行う。一般的な知名度は低くても優れた会社は関東近県に数多くある。一部採用活動が早い会社もあるので、情報収集は早目に行う。

企業の名前より仕事の内容を考えて選ぶ。企業(業界)の将来性、自分の適性をよく考える。希望の会社に入れても希望の仕事に就けるかどうかは分からない(可能な場合もあるが)。

### 3. 連絡先及び進路希望調査票について

進路指導を速やかに行うため、学生は機械工学科・材料力学研究室のHPから「進路志望調査票(第1回)」をダウンロードし所定の箇所を記入の上、期日(3月19日16:00)までに、E-mail (Re: 調査票—学籍番号, 本文: 調査票の提出) 添付により [yarai@mech.saitama-u.ac.jp](mailto:yarai@mech.saitama-u.ac.jp) に提出する。確認のため、印刷した調査票を機械工学科棟4階407室(荒居教員室)に提出する。

期日(3月19日16:00)までに調査票を提出しない学生は、特別の理由がある場合を除き、3月22日から31日の間の調整に加えない。

調査票のダウンロード: <http://zairiki.mech.saitama-u.ac.jp/yarai/syusyoku.html>

または、機械工学科のWebページから研究→材料力学研究室に入り、「進路関係の情報はこちら」をクリックする。

就職担当教員からの連絡は、原則として、機械工学科棟1階の掲示板、上記URL及び各研究室への通知(電子版及び印刷版)により行う。個々の学生と就職担当教員間の連絡は、電子メールにより行う。(電話は特段の緊急時のみに限定する)

### 4. 合否結果報告書の提出について

「就職試験・大学院入試等結果報告書」を上記のHP:「進路関係…」からダウンロードする。次いで、受験した会社・大学院等の合否判定の結果と試験等の概容を上記報告書に記入し、就職担当教員(荒居 [yarai@mech.saitama-u.ac.jp](mailto:yarai@mech.saitama-u.ac.jp)) にE-mailにて提出する。この報告書の提出は学校推薦のみならず自由応募で受けた場合、公務員受験あるいは大学院受験等の場合にも適用される。この報告書は学生諸君の進路確定状況を把握するためのものであり、また、次年度以降の就職相談の資料として使用する。

受験した会社・大学院等の合否判定があり次第、各社・大学ごとに結果報告書を提出のこと。

※調査書、報告書に関する個人情報は、就職担当者の責任の下で厳正に守秘される。

\* 以上の他、学生への連絡事項が上記ウェブページに掲載されるので、常時閲覧すること。

# 進路指導の進め方

## 1 大学院修士課程学生

- (1) 大学院博士課程への進学希望 ⇒ 指導教員による個別指導
- (2) 就職希望 ⇒ 就職担当教員による一括指導

## 2 学部学生

- (1) 大学院修士課程への進学希望 ⇒ 大学院アドミッション委員による一括指導
- (2) 就職希望 ⇒ 就職担当教員による一括指導

## 3 就職指導の基準

- (1) 同一の会社に複数の学校推薦の希望がある場合
  - \* 2名以上の推薦依頼がある場合は、募集数まで推薦する。
  - \* 大学院学生と学部生の場合、原則として、大学院学生の希望を優先する。
  - \* 大学院学生同士の場合、相互の話し合いを重視する。
  - \* 学部学生同士の場合、4年進学時の成績上位者を優先する。
- (2) 学校推薦と自由応募との関係
  - \* 推薦は同時期に1社のみを認める。
  - \* 推薦と自由応募（複数可）の同時進行を認める。
  - \* 推薦で内定した段階で、自由応募による就職活動を止める。
- (3) 就職活動と大学院進学との関係
  - \* 大学院進学が内定した場合、企業・他大学院への推薦を行わない。
- (4) 内定辞退
  - \* 推薦した会社等の内定を辞退した場合、それ以降の推薦を行わない。
- (5) 内定取り消し
  - \* 会社から内定を取り消された場合、就職先未定者と同等の扱いをする。